

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	聴覚障害者向けライブ字幕サービス
助成対象事業者名	株式会社アイセック・ジャパン
助成金の額	10,187千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	障害者手帳を持つ聴覚障害者 36 万人のうち、手話がわかる聴覚障害者は 7 万人に過ぎず、それ以外の聴覚障がい者は、字幕を必要としているが、字幕の普及が遅れている。手話のできない聴覚障害者の QOL を高めるためのライブ字幕サービスとして、高等教育・講演会・議会のライブ字幕に加え、ローカル TV 局のライブ番組に Web 字幕を提供する
②	助成対象事業の目標	ライブ字幕サービスとして、高等教育・講演会・議会のライブ字幕に加え、ローカル TV 局のライブ番組へのライブ字幕を提供し、手話のできない聴覚障害者の QOL を高める。

【令和3年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 大学・高校に学ぶ聴覚障がい学生の授業の支援 ② 講演会・セミナーでのライブ字幕の提供 ③ 議会におけるライブ字幕の提供 ④ ローカルテレビ局のライブ番組への字幕提供
④	助成対象事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ① 普通高校・大学に通う聴覚障がい生徒に対する支援 ・高校の情報保障: 新規に7月から都立大泉高校聴覚障害生徒1名への情報保障を開始。(203コマ: 前年比+30%) ・筑波技術大学(+56%)、沖縄大学(+141%)、武庫川女子大学(+77%)、日本福祉大学(新規)、社会事業大学(新規)での情報保障を実施した。また、スポットとして、長崎大学、熊本大学から新規に、琉球大学では、例年通り、卒業式・入学式の依頼を受けた。 ② 講演会・セミナーの情報保障 講演会・セミナー 167回・352.5時間(前年比+28.9%) コロナの関係で、講演会・セミナー関係はほとんどがオンライン開催に移行したが、その中でもライブ字幕の有効性が確認された。 ③ 市町村・都道府県議会の字幕提供では、前年度から継続

		<p>している佐賀県武雄市議会・福井県議会、千代田区議会、東京港区議会で聴覚障害者向けライブ字幕を実施した。</p> <p>④ ローカル TV 局のライブ番組への Web 字幕提供 11/29～12/3 日本海テレビ、12/6～12/10 テレビ長崎、3/3～9 福井放送で実証実験を実施した。特に、テレビ長崎においては、日本で初めてサブチャンネルを活用して、聴覚障がい者向けの字幕を提供した。</p>
⑤	補足説明事項	<p>日本初のサブチャンネルを活用した聴覚障害者向けライブ字幕について</p> <p>現在、テレビの字幕は字幕ボタンの操作により、画面の下部等に 2 行で表示されるのが一般的であり、見逃し時を考えると聴覚障害者に決して優しい字幕ではなかった。聴覚障害者からの声として、字幕の即時性ととも、情報量の多さ(2 行字幕から、8～10 行程度の字幕)を求める声が強かった。そこで、今までの字幕の常識を覆して、ほとんどのテレビ局が備えているにもかかわらず、活用できていなかったサブチャンネルを活用して、画面と 10 行程度の字幕を同時に表示するという試みをテレビ長崎と共同して日本で初めて実施することができた。</p>